

景況調査

「山形・秋田県内企業景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

3 調査期間

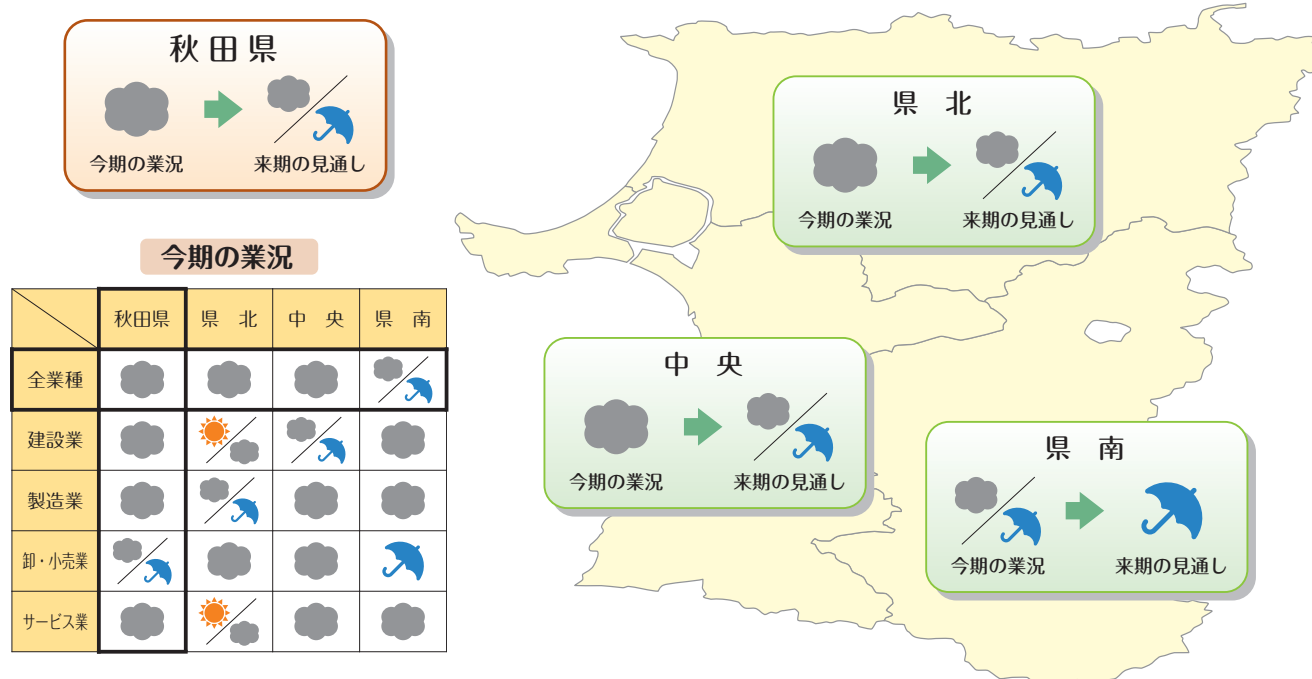
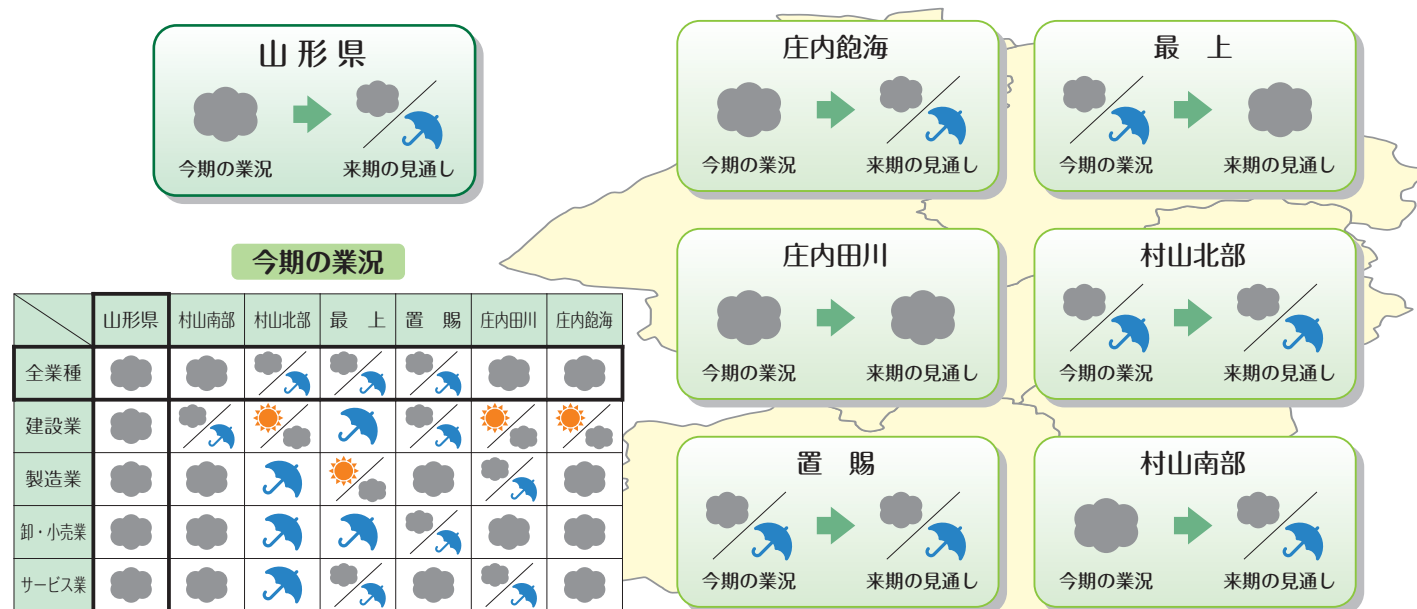
平成23年11月2日～16日

4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形756社、秋田420社
有効回答数 山形500社、秋田300社
回答率 山形66.1%、秋田71.4%

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ -10	-10 > DI ≥ -30	-30 > DI

景気の天気図

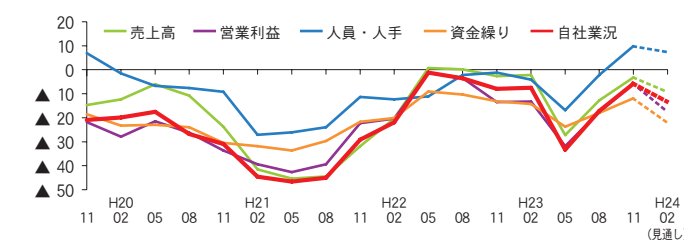


▶ 自社業況の動向

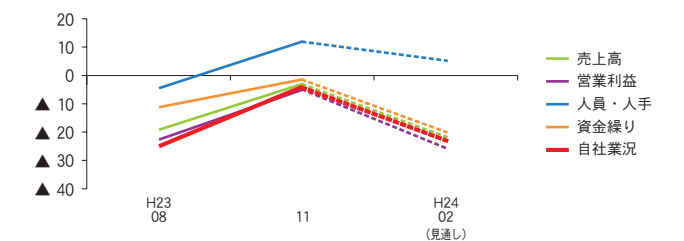
山形県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」でみて、▲5.8(11.4ポイント上昇)と2期連続で回復が見られ、震災前(2月調査▲7.5)の水準を上回った。先行き見通しは、▲13.1(7.3ポイント下落)で、やや悪化する見込みとなっている。製造業を中心として、円高や欧州経済の先行き不安等が反映しているものと考えられる。

秋田県の業況は、▲4.0(21.0ポイント上昇)と依然「悪い」超ながら大幅な回復が見られた。先行き見通しは、▲23.0(19.0ポイント下落)と再び悪化が見込まれている。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

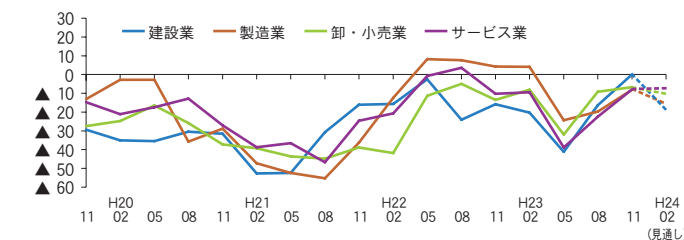


▶ 業種別の動向

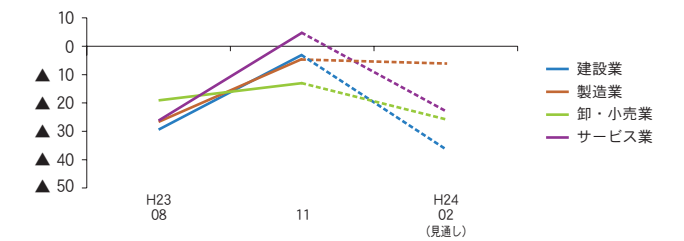
山形県の業況を業種別に見ると、全業種において回復が見られ、特に建設業はプラスに転じた。しかしながら製造業のみが震災前(2月調査4.1)の水準に回復しておらず、最も低いDI値となっている。業況の先行き見通しは、サービス業以外の3業種で下落し、建設業も再びマイナスに転じる見込みとなっている。

秋田県の業況を業種別に見ると、全業種において回復が見られた。特にサービス業の回復が大きく、唯一プラスに転じている。先行き見通しは、全業種で悪化する見込となっており、建設業が▲36.3(33.3ポイント下落)と大きく悪化、サービス業も▲22.9(27.7ポイント下落)で再びマイナスに転じる見込み。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

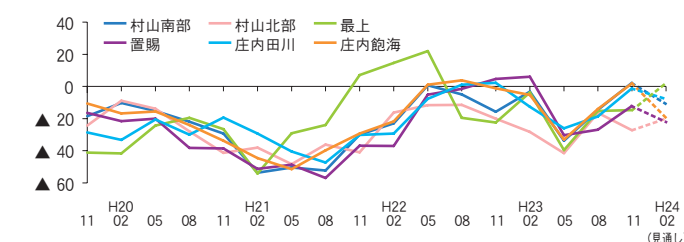


▶ 地域別の動向

山形県の業況を地域別に見ると、村山北部を除いた地域で回復した。また、村山南部、村山北部、庄内田川、庄内飽海の4地域は震災前(2月調査)の水準を上回った。先行き見通しは、村山南部で▲10.9(13.2ポイント下落)、庄内田川で▲20.0(22.2ポイント下落)と悪化する一方で、最上が1.9(16.7ポイント上昇)と回復が見込まれるなど、地域によりばらつきが見られる。

秋田県の業況を地域別に見ると、全地域とも回復が見られた。特に県北の回復幅が大きく、前期の「悪い」超から「良い」超に転じている。業況の先行き見通しは、県北で再びマイナスに転じるなど、全地域とも悪化の見込みとなっている。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

